

自分が肝炎ウイルスキャリアの場合、何に注意すべきか

肝炎ウイルスは飲食、プールなどで感染するものではありません。しかし、「ウイルスキャリアの人から出た血液や分泌物」が「他人の皮膚や粘膜にある傷」に付いた場合には感染が起きる可能性があります。

このため、職員がウイルス性肝炎に感染している場合、以下の注意を守ることが望めます。

1 医療機関にかかって自分の状態を把握するようにしましょう。

ウイルス性肝炎の経過は一人一人異なります。感染力の強さ、治療の必要性、治療法も一人一人異なります。自分自身の状態を十分に把握することが、自分を守るためにも職場で適切に行動するためにも重要です。そのために肝臓専門医（日本肝臓学会のホームページに掲載されています）：

http://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists_list）を受診することが望めます。

2 皮膚や粘膜に傷のある場合、傷口を完全に覆うようにしましょう。

けが、手荒れ、皮膚病など多くの原因で皮膚や粘膜に小さな傷が生じます。傷からは血液やその成分が出され、感染の原因になり得ます。傷のある場合、傷口を絆創膏などで完全に覆うようにしましょう。

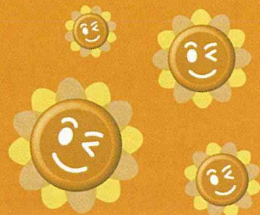
3 園児の傷に触れる際には必ず手袋を使いましょう。

B型肝炎ウイルスキャリアでは汗にもウイルスが含まれる可能性があることが報告されています。従って園児の傷に触れる場合には手袋を使う必要があります。



2、3は上に述べた通り、ウイルスキャリアであるかどうかにかかわらず、すべての人が心がけるべきことです。また、核酸アナログ製剤の投与などにより、ウイルス量が非常に少なくなっている場合は、園児にウイルスを伝播する可能性は低くなります。

園児や保護者への 指導のポイント



以下に園児、保護者へ指導する際に特に注意したいことをまとめます。

保育園に入る前に済ませておきたい予防接種

入園時には母子健康手帳で以下のワクチン接種歴を確認し、接種すべきワクチンの接種もれがないかどうか確認することが重要です。

1歳前まで

定期接種

- | | |
|--|----|
| ① インフルエンザ菌b型(ヒブ) | 3回 |
| ② 肺炎球菌感染症(PCV) | 3回 |
| ③ ジフテリア、百日咳、破傷風及び急性灰白髄炎(四種混合; DPT-IPV) | 3回 |
| ④ 結核(BCG) | 1回 |

任意接種

- | | |
|------------|-------------------|
| ① B型肝炎ウイルス | 3回 |
| ② ロタウイルス | 1価ワクチン2回、5価ワクチン3回 |
| ③ インフルエンザ | 2回 |

1歳以降

定期接種

- | | |
|--|------|
| ① インフルエンザ菌b型(ヒブ) | 追加1回 |
| ② 肺炎球菌感染症(PCV) | 追加1回 |
| ③ ジフテリア、百日咳、破傷風及び急性灰白髄炎(四種混合; DPT-IPV) | 追加1回 |
| ④ 麻疹、風しん(MR) | 2回 |
| ⑤ 日本脳炎 | 4回 |

任意接種

- | | |
|-------------------|---------|
| ① 水痘(みずぼうそう) | 2回 |
| ② 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 2回 |
| ③ インフルエンザ | (毎年) 2回 |

家庭における衛生管理

1 手洗い

手洗いは感染症予防の基本です。帰宅時はもちろんですが、トイレの後、おむつ交換の後、あるいは自分や家族の体液の処置(鼻水をかむ、絆創膏を貼り替えるなど)の後には手洗いをしてください。

2 食事・入浴の際の注意

大人が噛んだものを乳幼児に与えることは避けましょう。虫歯菌(*Streptococcus mutans*)やピロリ菌、肝炎ウイルスが感染することがあります。

月経中で出血が多いときは浴槽に入ることを避けるか、一番最後に入浴する、あるいはタンポンを使用することが望ましいです。浴室が血液で汚れた場合、水をよく流しておきます。

B型肝炎ウイルスのキャリアの方の血液である場合は、念のため50～60倍希釈した塩素系漂白剤を使って消毒してもよいですが、浴室に塩素がこもると危険なので、十分換気しながら行って下さい。

3 カミソリ、歯ブラシ、耳かきなどは共用しない

家族であっても、血液や体液が付着する可能性があるものは共用しないようにしましょう。



疫学に関して

① 保育園に入園してくる園児の中でB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスに持続感染している児（キャリア）は何%くらいでしょうか？

母子感染対策事業が開始された1986年以降に生まれたお子さんの小学校在学時のHBs抗原陽性率は0.01%から0.06%の間と岩手県や静岡県からは報告されています。

(Koyama T et al. Hepatology Res 2003;26:287-292, Noto H et al. J Gastroenterol Hepatol 2003;18:943-949)。

従って保育園に入園してくる園児の中でHBs抗原陽性の割合は0.03%程度と推定されます。一方出生時にC型肝炎ウイルスに感染しているお子さんは0.02%から0.04%程度と考えられます。

(小松陽樹ら 小児科 2007;48:1427-1434)。

② 過去に保育所でウイルス性肝炎に罹患した事例はありますか？

佐賀県でかつて10人以上の保育園児がB型肝炎に感染した事例が報告されています。アトピー性皮膚炎を合併したB型肝炎ウイルスキャリアの職員から園児への感染が起きたとされています。感染した園児にもアトピー性皮膚炎、とびひ、やけど、ひっかき傷など皮膚に傷があったことがわかっています。

C型肝炎に関しては保育園での集団発生の報告はありませんが、家族内での感染の可能性は指摘されています。

(Kiyosawa K et al. J Med Virol 1991;33:114-116)

④ 血液、吐物、排泄物の処理

鼻血や月経血、吐物や体液が付着したものはビニール袋などに包んで捨てるようにしましょう。肝炎ウイルスキャリアの血液や体液、あるいはノロウイルスやロタウイルスによる胃腸炎のときの吐物や下痢便で汚れた衣類や家具、床は50～60倍希釈した塩素系漂白剤を使って消毒してください。

⑤ 鼻血や怪我の処置

鼻血や怪我で出血した場合、できれば自分で処置をすると思いますが、それが難しいときは他の家族がビニール手袋をつけて処置をすることが望ましいです。

手袋がつけられない場合、できるだけ血液が手に付着しないように気をつけて、処置が終わったらしっかりと手洗いをしてください。

⑥ 家族に肝炎ウイルスキャリアがいる場合

上記にも記載しましたが、キャリアの方の血液や浸出液、体液が感染源となり得るので、不用意に触れないように注意し、適切に処理するようにしましょう。特にキャリアの方のウイルス量が多い場合は感染力が強くなります。

ウイルス量についてはキャリアの方の主治医に確認して下さい。B型肝炎の場合、体液にも多量のウイルスが含まれる場合がありますので、B型肝炎キャリアとの接触の機会が多い家族の方は、B型肝炎ワクチンを受けてB型肝炎ウイルスに対する免疫力を獲得しておくことが強く望まれます。詳しくは予防接種の項をご参照ください。

臨床に関して

3 園児がウイルス性肝炎に罹患した場合、どのような症状が出るのでしょうか？

ウイルス性肝炎は感染が成立しても症状が出ないことがしばしばあります。保育園児の年齢では感染しても9割には症状が出ないとされています。また、症状が出た場合でも「かぜ」と同じ程度のみのもことも多いため、ウイルス性肝炎に感染したかどうかは血液検査をしなければわかりません。

4 職員がウイルス性肝炎に罹患した場合、どのような症状が出るのでしょうか？罹患した場合には仕事を休むべきでしょうか？

成人がウイルス性肝炎に感染した場合、急性肝炎を発症します。急性肝炎の症状としては全身のだるさ、食欲の低下、黄疸（白目が黄色く色づいたり、尿の色がウーロン茶のような茶褐色になったりすること）などがあります。しかし症状が軽いと急性肝炎を起こしていることに気付かないこともあります。



以上のような明らかな症状のある場合には入院して治療が行われることが一般的です。仕事は休むこととなります。症状の軽い場合には仕事をすることは可能ですが、血液や体液にはウイルスが存在する可能性があるため、注意が必要です。

感染経路や感染の可能性に関して

5 洋式トイレで B 型肝炎や C 型肝炎ウイルスに感染することはありますか？

洋式トイレで尿や便に皮膚が触れても、理論的には皮膚に傷がなければ感染することはあり得ません。しかし、尿や便にはウイルスが含まれており、特に B 型肝炎ウイルスの患者さんでウイルス量が多い場合（4 ログコピー / mL = 10,000 コピー / mL が目安とされています）は尿や便にもウイルスが含まれており、ウイルスの感染力が強いため、実際には絶対に感染しないと言い切れません。

6 園児のおむつについた尿や大便から B 型肝炎や C 型肝炎ウイルスに感染することがありますか？

B 型肝炎キャリアの園児のおむつについた尿にはウイルスが含まれており、素手で触れた場合、手に傷があれば感染する可能性があります。素手で触れなければ感染することはありません。

7 お風呂やプールを媒介として、ウイルス性肝炎に感染した園児や職員からの感染が広がることがありますか？

お風呂やプールで感染が広がった報告はありません。ウイルスを含んだ血液や体液がお風呂やプールの中に入っても水で薄められますので、感染は起こらないと考えられます。

ただし、肌に傷がある場合はその傷口を絆創膏（ばんそうこう）などで覆ってから水に入る必要があります。また、生理中の女性はタンポンを使用するか、出血量の多い場合は入浴を控えることが望まれます。

8 ウイルス性肝炎に感染した園児や職員と手をつなぐことで感染することはありますか？

ウイルスが直接体内に入る可能性のない行為であり、一般的には感染する可能性はかなり低いと考えられます。

9 保育園にある玩具や学習用品を介して感染が起こることはありますか？

子供がなめる玩具には、玩具が接触する環境や唾液中に存在する細菌・微生物、手に付着していた感染性微生物が付着しています。ノロウイルス、インフルエンザウイルス同様、B型肝炎ウイルスの感染が玩具を介して起きる可能性があります。このことからワクチンで予防できる病気（インフルエンザ、B型肝炎）はそれぞれのワクチンを早めにお子さんに接種しておくべきでしょう。

10 ウイルス性肝炎に感染した園児や職員と同じコップで回し飲みをしました。感染する可能性はありますか？

コップについた唾液中にB型肝炎ウイルスが混入していても、飲み物で薄められるため、一般的には感染する可能性は極めて低いと考えられます。C型肝炎の感染する可能性はさらに低いと考えられます。しかし、飲み回しは極力回避すべき行為と考えられます。

11 ウイルス性肝炎に感染した園児の使った歯ブラシを誤って使ってしまった。感染する可能性はありますか？

C型肝炎ウイルスが唾液に出される可能性は低いため、感染することはまずありません。

B型肝炎ウイルスは唾液中に含まれる可能性があります。従って唾液のついた歯ブラシで歯を磨き、歯肉（歯ぐき）に傷をつけた場合、感染する可能性があります。他人の使った歯ブラシを使うことのないように園でも日常生活でも気をつける必要があります。

12 蚊に刺されることでウイルス性肝炎に感染することはありますか？

蚊は人間を刺して吸血します。この血にウイルスが含まれている場合、ウイルスは蚊の体内に入りますが、蚊の体内でウイルスが増殖することはありません。蚊に刺された時には皮膚に少量の唾液（蚊の唾液）が入りますが、この唾液の中にはウイルスは存在しないと考えられます。

従って蚊に刺されることでウイルス性肝炎に感染することはありません。

現場での対応に関して

13 ウイルス性肝炎の園児が他の園児に噛みついたら事後どうすればいいですか？

噛みついた園児の唾液には口腔内に常在している微生物が含まれます。また、噛みついた園児がB型肝炎ウイルスキャリアの場合、唾液にはウイルスが含まれている可能性があります。従って噛みつかれた傷口を流水でよく洗い流すことが重要です。その後、傷口を消毒し、絆創膏（ばんそうこう）などで覆っておく必要があります。

噛みついた園児がB型およびC型肝炎ウイルスキャリアの場合、感染予防の処置が必要になる場合があります。医療機関に速やかに相談することが望めます。



14 肝炎ウイルスキャリアの園児がけがをした場合、 どのような注意が必要ですか？

園児が肝炎ウイルスキャリアの場合、血液中にウイルスが含まれています。園児が自分で傷の処置をすることが望ましいのですが、実際には職員がけがの処置をすることが多いと思われます。

けがの処置にあたっては職員への感染を防ぐために手袋を着用することが強く望まれます。やむを得ず素手で処置をする際には、手に傷がないことを確認し、処置後は十分に手洗いをする必要があります。

15 私（職員）はウイルス性肝炎に感染しています。 園児に接する場合にどのような注意が必要ですか？

肝炎ウイルスキャリアの血液にはウイルスが含まれています。B型肝炎でウイルス量の多い場合（4 ログコピー /mL=10,000 コピー /mL が目安とされています）、唾液などの体液中にもウイルスが含まれていることがあります。従ってご自分のウイルス量を医師に確認する必要があります。

園児に接する際にはご自身の皮膚に傷がないかどうか確認し、傷がある場合は傷口を覆っておくようにして下さい。また、乳児に口移しで食べ物を与えないように気をつけて下さい（質問 10 とは違い、口移しは唾液が直接口の中に入るようになるため、感染の可能性が高くなります）。

16 ウイルス性肝炎の子供の傷の手当ての際に 手袋をするように言われました。 子どもに手袋をして接することには心理的な 抵抗があるのですが手袋はする必要がある 必要がありますか？

ウイルス性肝炎の子供の傷口にはウイルスが付いていますから、手当てをする人の手、皮膚に傷があった場合、肝炎ウイルスへ感染することがあります。

また、指先や掌は手荒れなどにより細かな傷がつきやすいものです。従って傷の手当ての際にはできるだけ手袋を使う必要があります。

17 使い捨ての手袋はコストがかかるので困ります。 本当にそこまでする必要があるのでしょ うか？

16 で説明した通り、手袋をつけずに傷の処置をした場合、肝炎ウイルスへの感染が起る可能性があります。この場合急性肝炎を発症します。発症後にウイルスが排除されずにキャリアになってしまう場合もあります。

さらに、感染した職員を介して他の園児が感染する可能性もあります。従って傷の手当ての際にはできるだけ手袋を使う必要があります。

現場での指導に関して

18 他国の保育園での感染予防状況を教えてください？

C型肝炎ウイルスが保育園で感染したという報告はありません。B型肝炎に関してですが、世界の9割以上の国では乳児期に予防接種（B型肝炎ワクチン）が行われており、ほとんどの入園児はB型肝炎に対する免疫を持っています。

従ってB型肝炎に保育園で感染することはまれだと考えられます。

19 肝炎罹患児の親権者から入園の相談があった場合、どうすればいいのでしょうか？

肝炎罹患児の状態（罹患している肝炎の種類、ウイルス量、医師からの注意事項など）を親権者に確認することが強く望まれます。罹患児以外の園児や職員を肝炎から守るために必要なことですので、少なくとも施設の責任者は肝炎罹患児の状態を把握しておくことが重要です。

肝炎ウイルスへの感染は、皮膚についた傷を覆っておくことでかなり防ぐことができます。従って親権者には登園前に傷の手当てをきちんとしてきてもらうことを徹底することが望まれます。傷の手当てをきちんとしておくことは、肝炎に感染していない園児に対しても望まれます。

20 園児がウイルス性肝炎に罹患していることを知った場合、どのような対応をすればいいのでしょうか？

基本的には19同様の対応が必要です。即ち、

- 肝炎罹患児の状態（罹患している肝炎の種類、ウイルス量、医師からの注意など）を親権者に確認すること
- 親権者には登園前に傷の手当てをきちんとしてきてもらうことを徹底すること

が望まれます。

21 職員は全員ウイルス性肝炎検査を受けた方がいいですか？

職員に限らず、すべての人はウイルス性肝炎に感染しているかどうか確認することが望まれます。ウイルス性肝炎は肝硬変、肝細胞がんに進行する可能性のある病気だからです。多くの自治体で無料（あるいは低額）検査が行われています。

保育園の職員は免疫が未熟である乳幼児に接します。このため、施設長は検査の結果を把握し、19で述べた指導を行うことが望まれます。

22 職員に対してB型肝炎ワクチン接種を強く勧めるべきですか？

保育園の職員はB型肝炎ウイルスキャリアの園児に接する可能性があり、感染の危険（かみつかれる、など）も医療従事者同様高いと考えられます。また職員がウイルス性肝炎に罹患した場合、他の乳幼児を感染させる危険性もあります。

同居家族内にB型肝炎キャリアがいる場合、家族内感染が高い頻度で発生しますがその感染経路は不明であり、あらゆる日常の行為が感染リスクに関与します。したがって、B型肝炎ウイルスに対する免疫がある（HBs抗体陽性）職員以外はB型肝炎ワクチンを接種することが望まれます。

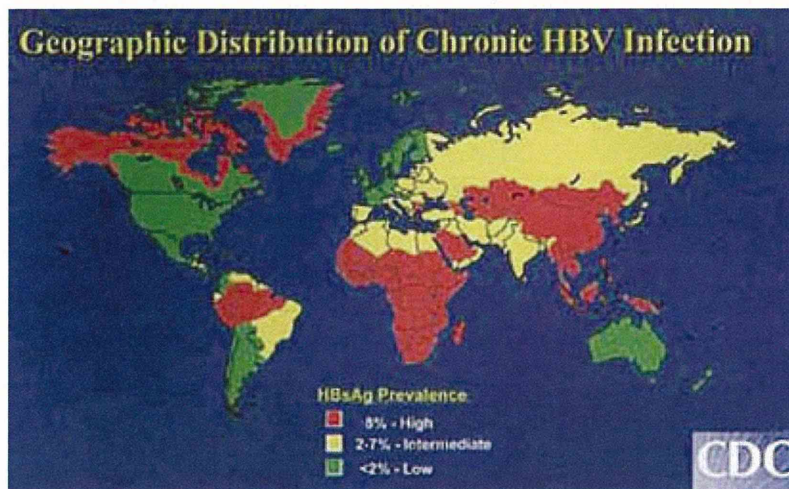
23 園児が B 型肝炎ワクチン未接種の場合、
接種を勧めるべきですか？

B型肝炎は症状のない病気であり、周囲にB型肝炎ウイルスキャリアがいるかどうかはわかりません。このため、園児、特に乳児がB型肝炎ウイルス未接種の場合、接種を受けることが勧められます。

詳しいことは予防接種を行っている医療機関でご確認下さい。

24 B 型肝炎キャリアの頻度が高い国で出生した園児は、
検査を勧めるべきですか？

保育園児の多くはB型肝炎に対する免疫を持っていません。従ってB型肝炎キャリアの割合が2%を超える国（下図で赤または黄色で塗られた国）で出生した園児には検査を勧めることが望まれます。



25 ウイルス性肝炎に感染している園児の
保護者（親権者）に肝炎のことを尋ねる場合、
どのようなことに注意すればよいですか？

園児がウイルス性肝炎に感染している場合、入園を断られたり、退園させられたりすることを保護者は心配しています。また、子供が肝炎ウイルスキャリアであることが他の人に知られることも心配しています。このため、肝炎のことを尋ねる目的が入園拒否や退園勧告、他の人に情報を伝えるためではないことを保護者に理解してもらう必要があります。

また、ウイルス性肝炎に感染しているかどうかにかかわらず、皮膚についた傷を手当てし、表面を覆うことが重要であることを説明し、保護者に協力をお願いする必要があります。

26 B 型肝炎キャリアや C 型肝炎キャリアの子は
運動や食事について何か配慮が必要でしょうか？

園児や乳幼児のウイルス性肝炎患者のほとんどは症状のないウイルスキャリア（無症候性持続感染者）であり、肝炎の治療は不要な状態です。従って医師の判断などで特別な場合を除き、食事上の配慮、運動制限などは不要です。

27 私はB型肝炎ウイルスキャリアです。
保育園に勤務する際にどのようなことに
心がければよいでしょうか？

大切なことはあなた自身の健康、保育園児の健康、あなたの周囲の人の健康を守るように心がけることです。

あなた自身の健康を守るためには定期的に医師にかかることです。B型肝炎は症状の出にくい病気ですので、血液検査などを行うことで初めて適切な治療を受けることが可能だからです。

保育園児への感染を防ぐためにはあなた自身の血液、体液が園児に触れないように注意を払う必要があります。指先など皮膚に傷のある場合は、ばんそうこうなどできちんと傷口を覆っておく必要があります。また、あなたの唾液や汗が園児に直接触れないように注意して下さい。

あなたの周囲の人に対しても園児に対するのと同じ注意をすることが大切です。また、あなたの家族やパートナーにはHBワクチンを打ってもらうことが重要です。ワクチンを打ってもらうことで、家族やパートナーへの感染を防ぐことができます。ワクチンは4～5ヶ月間に3回接種することになります。詳しくは医療機関でご相談下さい。

ワクチンに関して

28 B型肝炎ワクチンを打つ前に、血液検査を受ける必要がありますか。
また、接種後に血液検査を受ける必要はありますか？

保育園児がワクチンを接種する前には血液検査は不要です。しかし、家族内（同居者）に感染者がいる場合、接種前に血液検査が必要です。母親がB型肝炎に感染しているかどうかは産婦人科で検査されており、母親が感染している場合には医療機関で児にワクチンが接種されているからです。

また、接種後の血液検査も不要です。乳児はワクチンの効果が高く、ほとんどの児がB型肝炎ウイルスに対する免疫を獲得できるからです。

ただし家族内（同居者）にB型肝炎の感染者がいる場合は、B型肝炎にすでにかかっているかどうかを確認するために接種前に血液検査が必要です。

これに対し、職員がワクチンを接種する際にはB型肝炎にすでにかかっているか、そしてワクチンによって十分な免疫を獲得できているかを確認するために接種前、接種後に血液検査を受けることが望まれます。

29

B型肝炎ワクチンを打つ際の費用はいくらくらいですか。 何回接種すればいいのでしょうか？

B型肝炎ワクチンの接種は、ウイルスキャリアの母親から産まれた児への接種のみに健康保険が適応されます。接種は初回、1ヶ月後、さらにその3～4ヶ月後の3回にわたって行われます。

費用は3回の接種で15,000円程度です。自治体の中にはワクチン接種費用の一部を補助するところもあります。

30

B型肝炎ワクチンを打つと どのようなメリットがあるのでしょうか？

B型肝炎ワクチンを3回接種すると乳幼児ではそのほとんどがB型肝炎に対する免疫を獲得できます。成人では80%～90%が免疫を獲得できます。

免疫を獲得できた場合、ごくまれな一過性感染を除いて肝炎にかかることは少なくとも20～30年間ありません。したがって、B型肝炎ウイルスによる肝硬変、肝細胞がんを予防できます。

31

B型肝炎ワクチンの副作用は どのようなものがあるのでしょうか？

B型肝炎ワクチンは世界180ヶ国以上で定期接種に組み入れられているワクチンです。このことはこのワクチンが安全であることを示しています。

副作用としては注射した部位が腫れる、接種後に発熱があるなど他のワクチンと同じようなものがありますが、重い副作用はありません。